

令和7年度 林分条件調査表

森林管理署	三八上北森林管理署
物件番号	1
物件名	森林環境保全整備事業(横浜第二地区)

令和7年度 林分条件調査表

森林管理署 三八上北森林管理署

物件番号 1

物件名 森林環境保全整備事業(横浜第二地区)

林小班	保安林種別等	主要樹種	林齡	事業区分	伐採方法	面積 ha	伐採率 %	平均胸高直径 cm	立木資材量			生産量			予定作業量										最寄り市町村からの距離 km	備考					
									伐倒			集・造材			小運搬巻立			森林作業道作設			林地保全			土場作設等		砂利 数量 m ³	薬剤散布 (スルイイシ)	鉄板 規格×枚数			
									本数	材積 m ³	m ³ /本	N m ³	L m ³	計 m ³	方法	数量 m ³	方式	数量 m ³	数量 m ³	グラブ・片道運搬距離 m	林地傾斜 緩・中・急	延長 m	2種 編柵 m	綠化 m ³	h	数量 m ³	数量 m ³				
1321い9		スギ	55	誘導伐	皆伐	0.35	45		274	225	0.82	168		168	全木	225	プロセッサ	168	866	168			緩						9.8	備付 0.35ha(スギコン(少花粉)苗)700本 作業期間指定 令和8年11月10日まで	
〃		アカマツ	55	誘導伐	皆伐		45		92	53	0.58	30		30	全幹	53	チエンソーア	30	866	30			緩						9.8		
〃		広葉樹	55	誘導伐	皆伐		45		58	17	0.29		9	9	全幹	17	チエンソーア	9	866	9			緩						9.8		
合計						29.51			20,985	15,114	0.72	9,739	436	10,175		15,114		10,175		10,175		2,139		5,155 m			21	156.0 (150倍希釈) 302日	4,320 3m×8枚	砂利数量内訳 0-80 = 78m ³ 割栗 = 78m ³	

1 量の端数は単位以下第1位を四捨五入し、単位止めとする。

2 面積は伐採面積とする。

3 森林作業道作設の林地傾斜欄は以下の区分とする。

緩:0° ~ 20° 中:20° ~ 30° 急:30° 以上

4 森林作業道作設の土質等欄は、作設に当たり特に留意する必要がある場合に記載する。

5 最寄りの市町村役場(支所含む)からの距離欄は、物件番号毎の代表箇所について市町村役場を記入し、距離は単位以下第1位止めとする。

6 伐採箇所、土場、森林作業道作設予定線(既設集材路含む)、編柵および沢については、作業計画図に図示する。

7 その他必要な項目があれば備考欄に記載する。

◎ 機械地拵条件因子表

◎ 植付条件因子表